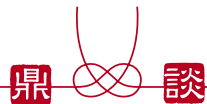




ホテル日航大分 オアシスタワー

市報おいた
新春企画

豊かなまち“おいた”を 未来につなげるために



大分市長
足立信也
九州電力株式会社
代表取締役社長執行役員
池辺和弘
大分市議会議長
二宮博

コーディネーター
荒金由希子(ラジオパーソナリティー)

世界の平均気温は年々上昇し、昨年は「地球沸騰化」という言葉も登場しました。政府は2050年までに地球温暖化の原因といわれる温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指すことを宣言しており、企業や自治体がさまざまな取り組みを進めています。

今回は、私たちの生活・経済活動に直結する電力の安定供給を中心に、再生可能エネルギーの活用等を通じた脱炭素の推進に取り組まれている九州電力株式会社代表取締役社長執行役員・電気事業連合会会長の池辺和弘氏をゲストにお迎えし、持続可能なまちづくりや市の魅力、誇りについて語っていただきました。

豊かなまち、おいたの魅力

—— はじめに、大分市での思い出や最近の大分市の印象・魅力をお聞かせください。

池辺 私は旧日田郡上津江村の出身で、中学2年生のときに大分市の中学校に転入しました。足立市長とは高校時代の同級生です。東京の大学に進学したので、実際に過ごしたのは中学・高校の4年半ですが、大分市には良い思い出があります。何よりも冬の青空がきれいで、天候に恵まれていますし、近年は大分駅周辺が整備され、4月には九州電力も参画している荷揚町小学校跡地複合公共施設もオープンすること、まちがどんどん新しくなっているな、という印象です。

市長 大分市の魅力を五つ挙げると、一つ目は「歴史」。大友氏が約800年前に豊後(大分市)の地に入って以降、大分市は一貫して県全体の中心となっています。日本で初めて教会で日本人の聖歌隊が聖歌を歌った「西洋音楽発祥の地」であり、府内病院の建設を行ったルイス・デ・アルメイダが日本で初めて西洋式外科手術を行った「西洋医療発祥の地」でもあります。

二つ目は「芸術・文化とスポーツ」です。芸術・文化面では、福田平八郎、高山辰雄、磯崎新という偉大な功績を残した名誉市民を輩出しています。スポーツでは、サッカー、フットサル、バレーボール、野球、自転車と五つのプロスポーツ団体が大分市を拠点として活躍しています。

三つ目は「山海の幸」。西から東まで海岸線が続く大分市は海の幸が豊富ですし、にらやしいたけ、和牛など山の幸も充実しています。

四つ目は、「製造品出荷額等が九州第1位」ということ。工業をはじめとするものづくり産業も盛んであることは大きな特徴の一つです。

五つ目は「自然災害による被害が少ない」ということです。温暖で風光明媚な上にこの30年間に自然災害で亡くなった人はゼロ。住みやすいまちの証です。

議長 私は佐賀県出身です。佐賀県は、関あじ、関さばなど海の幸は抜群にいいですし、ゆつくりとした時間が流れているまちです。

時速20キロメートル未満で走行する電気自動車(グリーンスローモビリティ)が、市内3か所で運行していますが、佐賀県がもっとも利用者が多く、高齢者や観光客の移動手段として好評です。また、JX金属 関崎みらい海星館が28年ぶりにリニューアルオープンし、九州では2番目に大きい天体望遠鏡を設置しました。景色も抜群で、映画ロケ地にもなっています。3月には佐賀県を舞台の一つにした映画「52ヘルツのクジラたち」が公開予定です。

次世代につなげる持続可能なまちづくり

—— 素晴らしい自然環境を次世代につなげる取り組みについてお聞かせください。

池辺 我々電力会社はエネルギーを扱う会社

ですから、地球温暖化をどのように解決していくか、私たちが果たすべき役割は非常に大きいと考えています。

今は電気を作る段階でできるだけCO₂を出さない手法や、電化の推進など、「カーボンニュートラル」に向けた取り組みを進めていますが、我々としては2050年には「カーボンマイナス」を達成することを目標としています。そのためには、まずは再生可能エネルギー(太陽光や風力等の電源の開発)を行っていきます。どうしても発生してしまうCO₂は回収して地中に埋めます。社会全体のCO₂を減らしていくため、家庭、産業、運輸部門において電化を推進し、ヒートポンプなどの技術を普及させる。とてもチャレンジングですがこのような取り組みを進めていきます。

市長 大分市は製造品出荷額等が九州第1位ですが、大分県民一人当たりのCO₂排出量も全国第1位です。これをクリーンなエネルギーにする「脱炭素」の取り組みを進めるとともに、変化していく工場群を新たな魅力として発信していくため「大分市工場夜景クルーズ」モニターツアーを実施しました。

*1 カーボンマイナスに排気ガスなどのCO₂が吸収される状態のこと。
*2 ヒートポンプは、圧縮機で冷媒を循環させ、膨張機で冷媒を膨張させることで、省エネ効果が期待される。